

令和6（2024）年度 教育相談特別講座

テーマ 不登校について考える

本講座では、不登校児童生徒に対して教職員や学校としてできることについて考えます。

▶期 日 令和6（2024）年7月25日（木）

▶会 場 栃木県総合教育センター

▶参加対象 小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校教職員及び教育関係者

	9:30	9:50		12:00	13:00		14:50	15:55	16:00
▶日 程	開会 行事	講 座 ※A・B・C から1つ選択		昼食 休憩	パネルディスカッション		意見交換 等		閉会 行事

午前受付 9:00～

午後受付 12:45～

講 座

A「不登校の子どもの心とつながる」	鳴門教育大学	教 授	吉井 健治
B「不登校児童生徒の保護者への支援」	開善塾教育相談研究所	所 長	藤崎 育子
C「組織を生かした不登校への対応」	日本大学	教 授	藤平 敦

パネルディスカッション

「不登校児童生徒への支援について考える」



パネリスト	鳴門教育大学	教 授	吉井 健治
	開善塾教育相談研究所	所 長	藤崎 育子
	日本大学	教 授	藤平 敦
	栃木県連合教育会	常任理事	築瀬のり子
	壬生町立壬生中学校	校 長	増淵 直樹

司 会 栃木県教育委員会事務局学校安全課課長補佐 佐藤 俊宏

▶実施方法 会場参加（定員 240 名・先着順）及びオンデマンド（A・B・Cの講座のみ後日動画配信）

▶参 加 費 無料

※動画配信期間（予定） 8月9日（金）～9月30日（月）

▶申 込 み 以下の方法によりお申込みください。なお、お申込みの際に、終日・午前・午後・オンデマンドのみ の4つの参加形態からお選びください。

・パソコンから…下記の申込みフォームURLから必要事項を入力

https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/kensyu/kensyu2024/tokubetsu_koza.htm

・スマートフォンから…右のQRコードをカメラで読み込み必要事項を入力
（入力にかかる通信料は個人の負担となります。）



▶申込期間 令和6（2024）年6月3日（月）～7月16日（火）

※会場で参加された方もオンデマンド配信の視聴は可能です。視聴方法については後日連絡いたします。

※本講座は、教職5年目研修、中堅教諭等資質向上研修、中堅養護教諭資質向上研修、栄養教職員、教職20年目研修の選択研修として受講することができます。その際は終日でお申し込みください。

※参加希望者が定員を超えた場合には先着順で受講者を決定いたします。各講座については、第一希望とならない場合があります。

※自然災害等の影響が予想される場合は、総合教育センターWeb サイトのトップページに、実施の有無や時間の変更等に関するお知らせを掲載いたします。

問合せ先 教育相談部 TEL 028-665-7211

講師の紹介

講座A 鳴門教育大学 教授 ^{よし い}吉井 ^{けん じ}健治

◇プロフィール

1961 年熊本県生まれ。熊本大学教育学部心理学専修卒業、鳴門教育大学大学院学校教育研究科修士課程学校教育専攻生徒指導コース修了、名古屋大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士前期課程修了、同博士後期課程単位取得満期退学。臨床心理士。公認心理師。博士（心理学）。現在は、鳴門教育大学大学院心理臨床コース臨床心理学領域教授。

◇所属学会

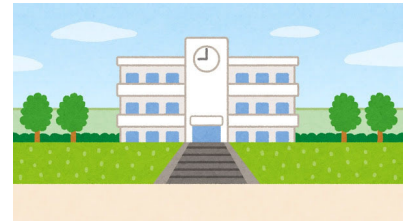
日本心理臨床学会、日本カウンセリング学会、日本生徒指導学会

◇主な著書等

『生徒指導のリスクマネジメント』（共著、学事出版、2020 年）

『学校心理臨床実践 心の専門家養成講座⑦』（共著、ナカニシヤ出版、2018 年）

『不登校の子どもの心とつながる一支援者のための「十二の技」』（単著、金剛出版、2017 年）



講座B 開善塾教育相談研究所 所長 ^{ふじさき}藤崎 ^{いく こ}育子

◇プロフィール

大学卒業後、韓国ソウル市の延世(ヨンセ)大学に語学留学。帰国後、韓国観光公社東京支社等の勤務を経て、財団法人松下政経塾に 14 期生として入塾。在塾時より、開善塾教育相談研究所先代の所長で現顧問の金澤純三氏に不登校・ひきこもりの訪問相談の実際を学び、現在に至る。

◇主な研究・役職・執筆等

文部科学省委託研究「不登校児童生徒への訪問型支援の実際」についての調査研究

神奈川県藤沢市教育委員・埼玉県教育委員・文部科学省不登校に関する調査研究会議委員

産経新聞 解答乱麻コラム

『生徒指導提要 改訂の解説とポイント』（共著、ミネルヴァ書房、2023 年）

『指導と評価 1 月号』（図書文化社、2024 年）

『生徒指導 5 月号』（学事出版、2024 年）



講座C 日本大学 教授 ^{ふじひら}藤平 ^{あつし}敦

◇プロフィール

20 年間の高等学校教諭を経て、平成 19 年度より文部科学省国立教育政策研究所の総括研究官として、国の教育施策に資する調査研究に携わる。その間、他省庁や他の国立の教育研究所、また、全国様々な自治体の研究協力者等を務める。平成 31 年 4 月より、日本大学文理学部教授。

◇所属学会

大学地域連携学会、日本教師教育学会、教育実践学会、日本生徒指導学会、アメリカ教育学会 等

◇主な著書等

『生徒指導・キャリア教育論』（共著、ミネルヴァ書房、2023 年）

『日米比較を通して考えるこれからの生徒指導』（共著、学事出版、2021 年）

『毎日の子ども理解&指導の心得』（共著、学事出版、2018 年）

『研修で使える生徒指導事例 50』（単著、学事出版、2016 年）